様式第１号

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【令和３年度】

※１～６，９：施設所管課記入，７：指定管理者記入，８：指定管理者及び施設所管課記入

指定管理者名	特定非営利活動法人　古川学人
施設所管課	教育部古川支局

１．施設名

施設名	吉野作造記念館	施設の住所 電話番号	宮城県大崎市古川福沼一丁目２－３ 0229-23-7100

２．施設の概要

設置年月日	平成7年1月29日	設置条例等	吉野作造記念館条例
設置目的	吉野作造に関する調査研究、その情報を発信し市民の教育文化の向上と地域文化の創造に資するため		
施設の内容	RC造平屋建　延床面積　1,725.05㎡ 敷地面積　8,321.68㎡ 主な施設の内容 常設展示室，研修室・企画展示室，講座室，収蔵庫，学習ルーム， インフォメーション（受付），休憩ラウンジ		
利用料金	別紙のとおり		
開館日 開館時間	開館日　火～日曜日 常設展開館時間　9～17時（貸室場合9～21時）		

３．これまでの管理運営状況

期間	管理形態		管理受託者又は指定管理者等
平成 6年度～平成13年度	1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他	1	旧古川市
平成14年度～平成17年度	1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他	2	特定非営利活動法人古川学人
平成18年度～平成22年度	1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他	3	特定非営利活動法人古川学人
平成23年度～平成27年度	1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他	3	特定非営利活動法人古川学人
平成28年度～令和2年度	1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他	3	特定非営利活動法人古川学人
令和3年度～令和7年度	1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他	3	特定非営利活動法人古川学人

４．現指定管理者の指定期間等

指定期間	令和 3年 4月 1日　～　令和 8年 3月31日（ 5年　ヶ月）
選定方法	公募　（応募者数：　団体）・ 非公募

５．指定管理料

令和３年度（ア）	令和２年度（イ）	（ア）－（イ）
38,278千円	37,591千円	687千円

※（ア）は当該年度，（イ）は前年度とし，それぞれ決算額ベース。

６．指定管理者が行う管理運営業務の内容

指定事業（業務）： １　条例第４条に規定する事業の実施に関する業務 ２　利用許可，取消し等に関する業務並びに利用料金の徴収，減免及び返還に関する業務 ３　施設及び設備の維持管理に関する業務
自主事業：該当なし

７．利用実績等

（１）利用者数

（単位：人，件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
令和２年度	60	144	156	357	278	323	339	883	457	333	368	599	4,297
令和３年度	320	1211	368	471	533	342	762	1,420	1,160	327	672	442	8,028
主な増減要因	5月　：「小さなＧＷイベント」開催による増加 11～12月：講座開催による増加 2月　：企画展開催による増加												

※上段に前年度実績を記載し，下段に当該年度実績を記載すること。

※指定事業に係る利用者数を記載し，自主事業による人数・件数は記載しないこと。

（２）利用料金収入

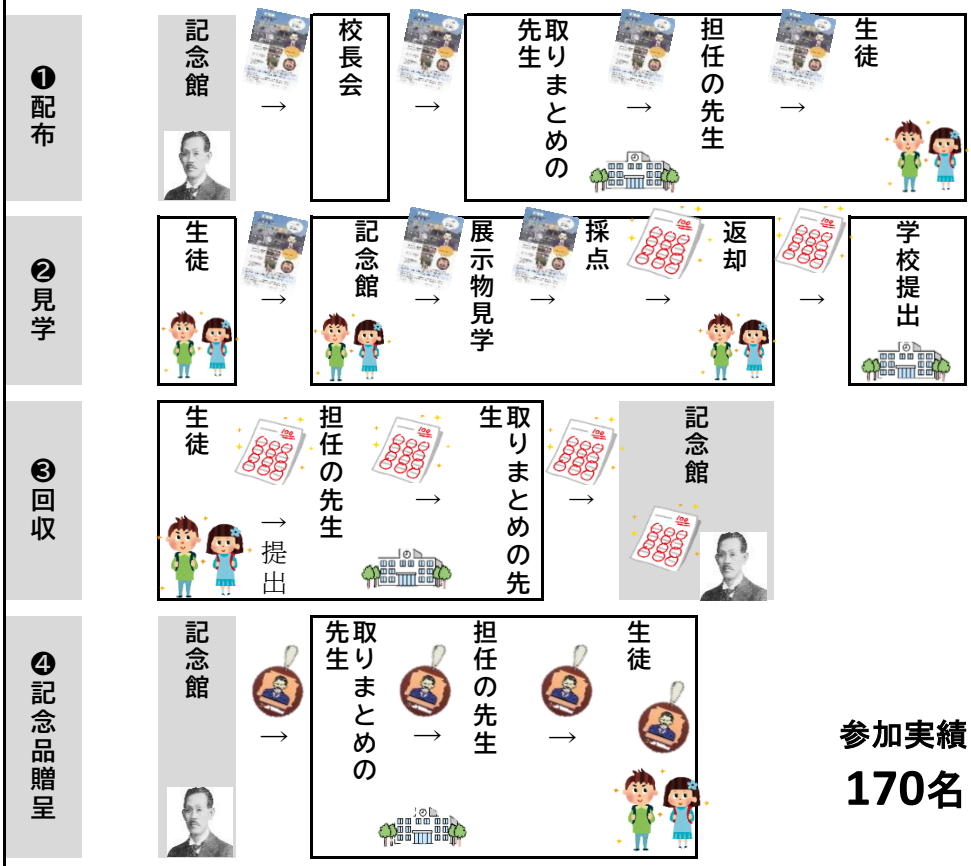
（単位：千円）

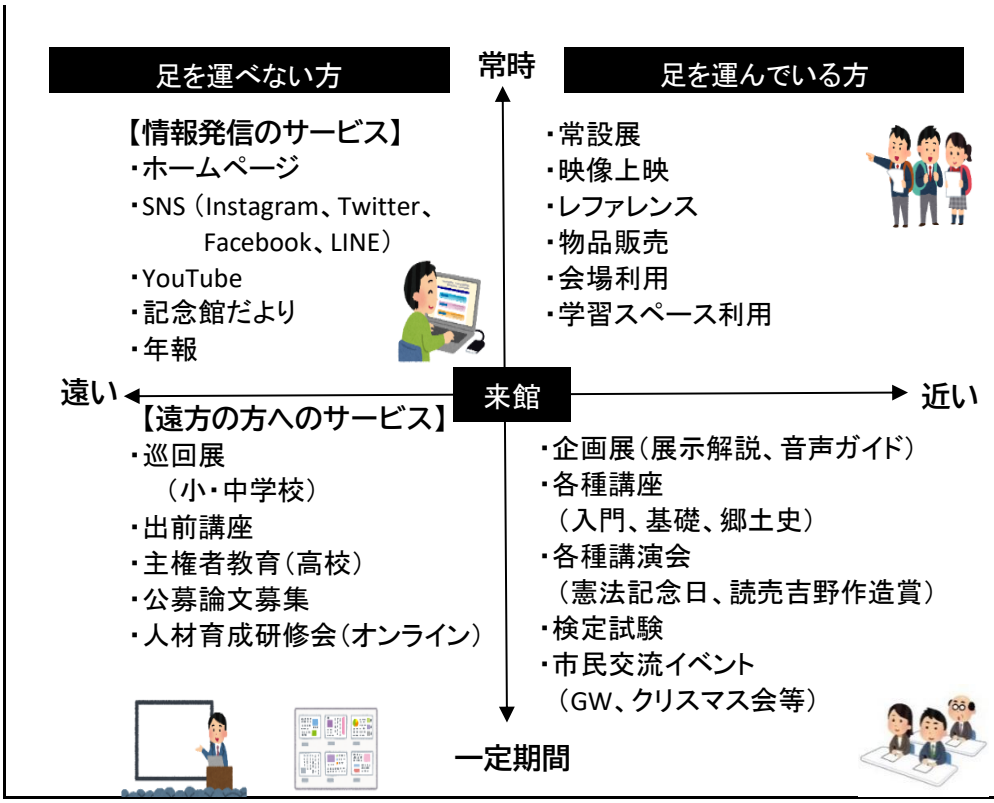
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
令和２年度	2	9	11	22	24	21	24	36	16	14	28	31	238
令和３年度	14	25	13	33	69	57	24	24	8	11	8	28	314
主な増減要因	8～9月：企画展開催により有料入館者が増加												

※上段に前年度実績を記載し，下段に当該年度実績を記載すること。

※指定事業に係る利用料金を記載し，自主事業による収入は記載しないこと。

（３）サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み

取組み	サービス向上	利用者数増加
1)吉野作造ジュニア検定事業の実施 夏休み期間に郷土の先人・吉野作造を学ぶ機会を提供するため、市内の小学5～6年生を対象としたジュニア検定を初めて実施した。当館の展示物を見て問題に応え、満点合格すると特製キーホルダーがもらえる企画。  	○	○
2)利用者への各種サービスの充実 ・当館を利用する方のニーズに合わせたサービスの提供 ・当館の既存の利用者数および新規利用者数の さらなる拡大に向けた情報発信活動		


足を運べない方
常時
足を運んでいる方
【情報発信のサービス】
・ホームページ
・SNS（Instagram、Twitter、
Facebook、LINE）
・YouTube
・記念館だより
・年報
・常設展
・映像上映
・レファレンス
・物品販売
・会場利用
・学習スペース利用
遠い
来館
近い
【遠方の方へのサービス】
・巡回展
（小・中学校）
・出前講座
・主権者教育（高校）
・公募論文募集
・人材育成研修会（オンライン）
・企画展（展示解説、音声ガイド）
・各種講座
（入門、基礎、郷土史）
・各種講演会
（憲法記念日、読売吉野作造賞）
・検定試験
・市民交流イベント
（GW、クリスマス会等）
一定期間

	○	○

（３）サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み

取組み	サービス向上	利用者数増加
3)吉野作造巡回パネル展(令和4年3月～令和5年3月) ・学校に居ながら吉野作造の生涯・業績を学ぶことができる ・約1年かけて市内の全ての小・中学校で実施 小学校：下見 → 準備 → 展示 約２週間 → 片付け → 次の小学校へ 実績　3/10～4/15　古川第一小学校 中学校：下見 → 準備 → 展示 約１ヶ月 → 片付け → 次の中学校へ 実績　3/10～4/28　古川中学校	○	○
4)施設･設備の修繕 博物館施設としての機能と役割を果たしていくためにも、施設面の課題を解決していくことは利用者の増加に繋がるものであり、今年度は下記の内容について取り組みました。 **【指定管理料の中で行った内容】** 1、LED蛍光灯への切り替え工事 （ソケットおよび蛍光灯交換工事） ▸受付前　：9箇所 ▸ラウンジ：12箇所	○	○
2、排水溝工事（新設） ▸場所：関係者用通用口 ▸内容： 雨天の際に水が溜まらないよう排水溝を新設するための工事を実施。	○	－
3、電動スクリーンの設置（新設） ▸場　所　：講座室 ▸サイズ　：100インチ ▸機　能　：スクリーンの上下移動	○	○

（４）施設利用者の主な声やその対応状況

■利用者ニーズの把握方法･対応（下記の手順に基づいて取組みました。）

1､ニーズの把握･････お客様の声（感想など）、アンケート用紙、電話、メール、Fax等で収集します。
2､集計・分析 ･････担当職員はアンケート結果を集計し職員ミーティングの場で報告をします。改善することが必要である場合は、改善方法について検討します。
3､改　　善･････担当職員は速やかに改善します。
4､情 報 公 開 ･････集計結果を改善内容については、館内の掲示板とホームページ、記念館だよりにて情報公開をします。

アンケート集計結果より抜粋(集計数:223名)

◆講演会参加者
オンラインによる講演会では、少し聞き取りにくさを感じましたが、ゆったりとした座席数で聴けたのは良かったです。
→オンラインによる講演会では､声が聞き取りにくくて残念との声が多く寄せられました｡ご不便をおかけして申し訳ございません｡できる限り改善に努めてまいります。

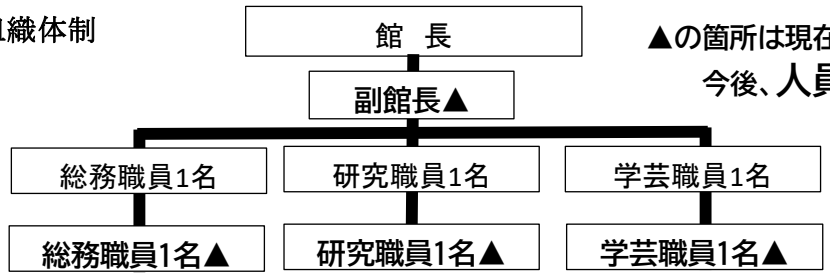
◆こどもの日ちいさなイベント参加者
コロナの中でも、映像の上映などがありよかったです。コロナ対策も出来ており安心しました。子供たちへのシャボン玉もとても喜んでおりました。

◆企画展観覧者
資料がよく精査されて解説がとてもわかりやすかったし書簡の読み下しがおもしろかった。中国と後藤新平の橋渡しを吉野作造が行った時代背景や人物関係をもっと勉強したいと感じた。ありがとうございました。

（５）施設の管理運営における課題

1)組織体制の見直し【長期課題】
博物館施設としての機能と役割を継続し安定的に果たしていくためにも下記の課題解決に向けて、大崎市と指定管理者間で定期的な協議を行っています。また今後、下記の取組みについて多方面で幅広く事業を展開していくことから職員の組織体制を見直す必要があります。今後も引き続き、大崎市教育委員会と指定管理者間で協議を行いながら進めていきます。

組織体制



▲の箇所は現在､不在となっている箇所であり､今後､人員を増やす必要が有ります。

● 抱 え て い る 課 題　　～ 適 切 な 組 織 体 制 に す る た め に ～

課題1　当館の**施設内での業務(見学者対応､レファレンス等)**と**対外業務(資料調査､出前講座､出張展示等)**を両立させることができず､やむを得ず日程調整をしながら進めています。

課題2　職員に退職があった場合､資料の保存･管理･調査研究･展示･活用､教育普及啓発活動がストップしてしまい､継続して取り組むことが困難となるため増員が必要となります。また､経験のある職員を雇用した場合であっても､能力の向上には相当の時間を要するため職員数の増員は必要不可欠となる。

課題3　活動を行う上では利用者とのコミュニケーションが重要であり､これまで活動を行う上で築き上げてきた研究者や資料の寄贈･寄託者､協力者などとの**人的ネットワークが途絶えてしまう危険性**があります。

課題4　複数の事業を同時並行で進めることが困難であり､増員となることによって､**それぞれのチームにわかれ**

業務を円滑に遂行できるようになります。

2)施設の老朽化【長期課題】

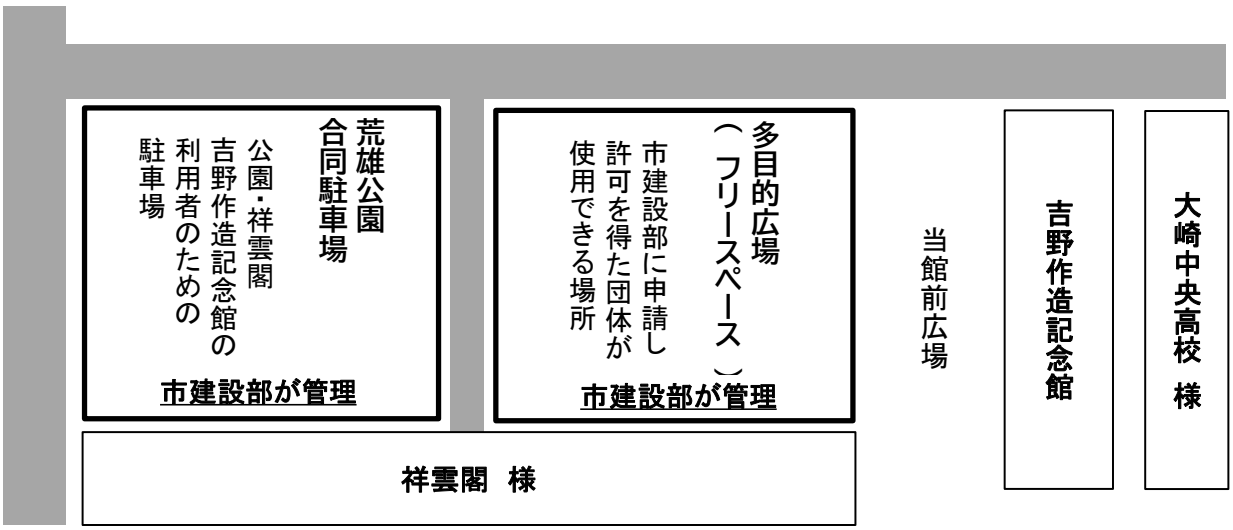
当館は開館から27年が経過し施設の老朽化による故障や劣化が増えています。特に大規模修繕に該当する項目については引き続き大崎市教育委員会と指定管理者間で協議を行いながら改修に向けて進めて行きます。

●大規模修繕および改修項目（主な内容）

① 外壁清掃・塗り直し
② 当館専用駐車場新設（北側中庭）
③ 関係者用通用口フェンス設置
④ 屋上安全柵改修
⑤ 休憩ラウンジ屋根防水工事（令和4年度に実施予定）
⑥ 電気設備機器交換工事（令和4年度に実施予定）
⑦ 電話機の故障による新規入れ替え工事

3)荒雄公園合同駐車場および多目的広場の管理における課題(平成31年～協議中)

平成31年から下記の課題を解決するために大崎市建設部と大崎市教育委員会、指定管理者の三者間協議を行ってきました。感染症拡大の影響もあり、駐車場が満車になるケースは少なくなったが、収束した場合にあらためて下記の問題が発生してくることから、適切な管理体制となるよう今後も継続して協議を行っていきます。



課題	荒雄公園合同駐車場	多目的広場(貸出)
①ゴミの散乱 （煙草の吸い殻、空き缶、不法投棄等）	○	○
②目的外駐車 （車を停めて別の場所に行ってしまう等）	○	
③管理体制の構築 （日常点検、満車やトラブル時の対応等）	○	○
④ルール遵守による利用の徹底 （誤って荒雄公園合同駐車場を使用してしまうことや使用後に車止めを戻さない等）	○	○

８．管理運営状況

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価
1　施設全般の管理運営に関する業務			
（1）人員配置	管理運営に必要な人員及び有資格者を配置している。	○	○
（2）職員研修	業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	○
（3）管理記録	各種の管理記録（業務日誌等）を適切に整備，保管している。	○	○
（4）安全管理	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
（5）清掃・維持管理	施設，設備等の保守点検や維持管理等を適切に行っている。	○	○
（6）施設等の修繕	施設や備品等の修繕を適切に行っている。	○	○

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価
2　利用者に関する業務			
（1）利用状況	事業計画書等に基づく利用者数や施設の稼働率がある。（感染症の影響を考慮）	○	○
（2）利用料金	利用料金の設定，徴収，減免，還付等の手続きを適切に行っている。	○	○
（3）利用者満足度	利用者ニーズの把握に向けた取り組みを行っている。	○	◎
3　事業の実施			
（1）指定事業	仕様書，事業計画書に基づく事業を実施している。	○	◎
（2）自主事業	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	―	―
4　個人情報の取扱い			
（1）個人情報の保護	協定書等に基づき適切に個人情報を取り扱っている。	○	○

5　管理運営業務の収支等			
（1）収支状況	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
（2）効率的な運営	経費の節減や利用料金収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	○
（3）経理事務	専用口座，所帳簿等を備え，適切な経理事務を行っている。	○	○

【評価の考え方】

評価		評価の考え方
◎	（優　良）	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	（良　好）	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	（課題有）	協定書や事業計画書等を下回る内容であり，一部の業務に改善が必要である。
×	（改善要）	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が行われなかったため改善を要する。

※該当しない項目については，「－」を記入してください。

９．施設所管課の総合評価

平成１４年度に指定管理へ移行して以来，適正な施設維持管理及び利用者サービスが継続的かつ安定的に実行されており，総合的に見て良好な管理運営が行われてきた。
運営面では，新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用者が減少したものの，小・中，高校生に民主主義の大切さを伝えるため，学校に出向いて巡回展や出前講座を開催し，小学５・６年生を対象にしたジュニア検定も初めて実施するなど，利用者の年代やニーズに合わせたサービスを展開し，ウェブサイトやＳＮＳを活用した情報発信を行い，リピーターや新規利用者の拡大に努めている。
また，これまでの着実な取り組みの積み重ねが実を結び，吉野作造博士のご家族とも良好な関係を築いてきたことは大きく評価できるところであり，資料の取扱いについても，吉野作造記念館資料の取扱要領を基に適切に管理が行われている。
施設管理面については，日々の点検により施設の状態を的確に把握し，必要な保守や修繕等を行い，来場者サービス向上のため様々な取り組みを行っている。
今後も，引き続き創意工夫した管理や事業運営に努められ，一人でも多くの方が来場し，郷土の偉人に思いをはせ共有できる施設であり続けることを期待するものである。